第124号 2020年 4 月発行

ナルク大阪南「いちょうの会」

〒542-0012 大阪市中央区谷町6-4-8 新空堀ビル2階 206-2

TEL/FAX 06-6710-4522

E-mail osaka-m. ichou@sky. plala. or. jp

ホームへ。ーシ゛

⇒(ナルク大阪南)

(検索)

問っさとまにでや頃 視ホん名れ歩しりで丁

さン(乗たいたた、度れト当りとなった。

まに時出きなまな実人し歩大たあげたとをが

たけ阪のって `考受亡

°る拠でてく奥えけく

そか点す「れ様出入な こ?代°参なかしれつ

で 一表でしょ?もいめー ーと しょ?もいめー

ーと し?もいめー 大強か、すったて周 決くら廣。と一矢何忌

心疑は岡」頼緒先かの

参「ク七」残な以の助ずへた子てたこ20募人 今特加エ15次ナっ高つ来方の万も。入、又もで5つ数そさ、たさ時しで当山夫高でにしっ周・ルで畑で家で功事伺そり私、の夫30てものん目のれのは、時県婦畑 時こク六と海い一 合もぴわしの頂揃て のと「十一道つ番 いあつゆやごきつお 記で『九ナ五て心 へつたるば実まてら 憶すに次ル十もに とてり内ら家し弟れ

じはれ待る少頃 いまフか、し方。こ賓ま出上。てい しししにまた、第つとしてげ てたッ入だね隣一としたおら 同°ト会会°の印来て°られ つそをを員 お象ら招或れた 畿た

名誉会長、 高畑 さぶ 6 0 想 ٧١ 出 5

そ 加 たも信れおし成 れ前し五も決にて陰て・参 に述た十の心つ段様必花加 私、の七で、な々で死園す の、は次すやがとそにかる 五北、ウ るっ調の歩らと 立原 人 河高オ 気て子甲き大決 で夫畑ー だいが斐の阪め 妻さり L なき出あ練城て んに とまてっ習なか 改しきてをどら `全 道浜廣通 めた `歩しを て。結くま行こ 中拠岡し 思何構にしきこ で点さで は、ん参 つ事自つた来西



品川宿にて

たみカ なんまと もりし二となりく岡人もしが地 い安ざ世 も支半受ク °らい話高の援頃けを平ったリ人がとし、高奥、た人もく道時、 あて飲元 かまに畑で感にな完成けいスとら覚たよ畑様高。であながも私高れ下みれ なマな聴えねくさか畑ご大りつ分あ)畑ばさにの無性りて、相んのさ夫人またかりで、、る案方 にしなさは謝到が歩ん。 合おたりありしち 掌眠。有 邪がでておめ撲はかん婦ししこら帰行廣三時内々 ま頭し か気な一面もあいたものです。 があり、反面、 があり、です。 があり、です。 があり、です。 があり、です。 があり、です。 があり、です。 があり、です。

も面とす、をもてごあい、言いとよいない。知れれた。知親お夫

しもも しゃれる のあまお

心ちらな たがれは

つ交ら妻

り子つ 感くおく

まどて

一面 成

※

ら写め本

転真た稿

載はもは

てルす。シ 頂ク

غ أو أعلى المار المار

周 L

年

記

誌

カン

、の、 せナでイ

※

ピ

1

結

果

を

纏



りど難大せのたお814 下うう変ん中時江0日さぞごお。かの戸0、 ら感日名31 一激本の日 生消感に沿り出のウ え動12えず る、時を上

堀田力氏と

同に

れの言さ詩らさ声て息今さ 声き古の斎出 者 がを すて言 °い吟 `れが: 遣考っ初に込今歌橋会私に中で重素江詩 けい葉今 `を味るも: いえため魅ま和人でっがは国はん読戸吟 はるにでと求の °て等 `るのは惑れ歌で詩た詩日の `じし時と 始のル ま子し る弟ツ がは よ藩 つ校 てに 今お でい もて 礼漢

節詩

、界有なは

にでと求の。て等、るのは惑れ歌で詩た詩日の、じし時と 教ものめあだは々作とだおさる集、吟先吟本伝漢らた代は わそ助なるかや。者そが客れ自に中の生ので統詩れこに何 私がれ、様た分造国教が世も的とると武? は詠が年でたが詣史室 、めいが、を商に名法? がだか重優でた深日開事はな則 低情つねしも。く本い会ま唐に い景たるくあ勿 史て社つの則 いにた李っ 毎楽る論話 男の和た勤の白た 前情歌 °務は で景にアす、杜で、の万ラる40甫あ 吟中葉ラ傍年がり じに集ギら前い る引、派心にる作 `た下

声んよを 詩心細にし 吟のか鬼く で変いと指 は化節変導 を回わし 高考しつて いえ

とみ人流旅へ行間で教 っとは室

。国い中詩て言

つ染国が船江も仲けはるにでと求の

°だ吟い葉今

偕楽園の梅ま

。現行白 在し帝 はた城 `皆を ナの発 ル共す ク通 本の「 部想を のい吟 生出じ 一として、 習て忘 で残れ 学っら てれ んかない いるい

るこ徳 で天高 一皇津 年をの の主宮 初室へ め神高 とと津 しし神 てて社 `祭• 新る中 年神央 奉社区 納で 吟あは をる第 しが16 て、代に

一のか各部 Ł お L 4 \mathcal{O} 旅 が あ る

戦うた人は考ださい集吟山るつ少々散高てにすのの方点を 楽泊おで た々に策らき合る広梅々 74

かTVを参で 想恥拍しかたわ詩場をと水し二声クっに身加全まいず手てに成せ吟で愛は戸む日をの本 国た出かをい詠果練を梅で偕拠の、もり貫たいた羽見に、楽点 れと粋す識様も放ま万の、もしいを習尺に、楽点温交け拠のといにるでにの映と葉詩富あか、方、声し八関庭園の拠流、点詩

れと粋す識様も放ま万の の愛県 れ たに一好 とわ句家 後かをが で万特集 聞葉設う、 き美舞 `人台 -こにで 万 の変当葉 目身時祭 ででのし 見あ衣に たる。装も

和にな 忘はを場知のたもに とし物あえ 、な るて い皆ん武がみ るとだ将 毎笑こそ国と、日いとし内、 で楽がて外詩 あし分賢を吟 るみか人間で なる。はわ培 `ずっ が 漢歴た 5 詩史つ カン

「ら勿書日た中なの

の長に

悦 子 東成 区

会 〜我の が ひ 家 2 0 ŋ コ 口 ナ 対 策

:てにコ いもロ るびナ しウ 我ひイ ル がし ス 家と のそが 対の猛 対策状況はの影響があ がはというとがあちこちにるっており、 とに

る余地がない 会投げ出しい とくる。 くて、 、い疲 洗たれ に 面がて `\\ 所 洗 へ今れ 直現ば 11 行在す

すこぐマるれに 一く体し買 に貯 対分 ては 我な がい 家 ル段

アつる換ガし自た。 رَجُ الْحَالَ ウて ト結余いゼはは し構波うをな2 て呼の具挟い日 く吸利合んの間

0 7 11 た メ ガ ネ が 曇

てでア上ん内 なれの点ででだ使ルとき、ル下までこく、湿が延ころ用を乏 使用。これも くりと同様市は 袋に入れる。 ななくればがあり があさイチで、 メ少な/ なりな/ ŋ でなドは 党のの ない つの ま屋

す齢をザ激聞 め要うる活は 思、請にて動こうおが、うがう 互。施だ今かい何設。月、 にせのイ3と 人ナ方ン月役 ールかフは員 倍クらル10さ 注は入工件ん 意高館ンにへ

S 住

5 2 おば 0 ャ歳 力 時 記 ・三月 なる~

田 0 花 春

何以さた そが場工ばあ◆ なっのし日を流か失町語と来んがあのった日で、しにつ敗の源もこの、る語 `で場がる で「にい」以の源もこの、る語な出のあこ四ではいい。 で「にい」を発たし工博言の顔仕鋳源ぜ来勤ると月しおおついてももて場士えこで上物にそた労。ば八まシ生の出てすのしで・なとはが工はれ不動わに日いてま間し、れをま金棋いばかっ場色が自己である。 てすのして・ない。 ではない場合ではれた に、のはないはない。 ではなったの地ではない。 ではなったの地ではない。 ではなったの地ではいる。 ののは、のがはいるがはない。 がはれたのが、 はなくなのが、 といるが、 がはいるが、 でもなが、 がはいるが、 でもなが、 でもながが、 でもなが、 でもなが、 でもなが、 でもなが、 でもなが、 でもなが、 でもなが、 でもなが、 でもなが、 でもな 、 るには -。のつでのう関 ・ 、軍 - 係 。お頼 るそ地ま かた , 軍 がれ蔵れ 工需との

まどだになこそ八れ町なと下すう、なっのし日を流か失町記 ヨっ接すき カた着る が時実 、氏 タすう なま火に をわくがよ ちい強れ こ下かいば

にか

こまシ生の出したが、からなったかい。

たのののに夜の◆ 感詩うは欠□端 菜じはちなか、 しせとか菜 十のな歌すの ら面四ひいわみ花 えに行ら小れ深畠 黄立が道るしに 東並が見るよう。 色がなれて、 のたった。 た 文あに文日 字る「部う Щ ば ゆ が 幕島 で で で で で で で で で で で れ に 省唱歌 暮を 黄 をぼニち」。見 \mathcal{O} 敷ち十めはおわ イ ょ七ん春ぼた メ つう文の景ろす ^{´)}字な色月山

> とき そしてう氏 か別菜地づののとジ対りちのな青こにこらにののぐ花境こが よ名いのとよれで土花人すがあろ強 う残中ほばるはは地ががいまたがく たい耳 な咲と がっ 色て す どい 言もる。 て「手る 土う菜県

とがいな・り `者いっっ。色黄もア佐 となもオ竹 いどっと昭 うもとい広 意含広 味まい をれ意 持 つはに てっ使 いきわ

的て であるしる る。味し にし 使 わす れな てわ いち たは

康情 報 シ IJ 1 ズ 39 糖 尿

病

健

キり糖 能ダのがく病くる**慢** ン血値症性メ症増あにの糖**度** なにグ糖を状が一状えりか場の 対すな値定があジがるまか合濃理 `せっ の高的いま受れ体んて初 。い期の糖 て放が徐る症高尿 置減々こ状い病 重しるにとが状と大て、のにほ態は なお疲ど気とが血 合くれが付ん続糖 併とや渇かどく値 症やすくなな病(をがく `いい気血 起てな尿人たで管 こ血るのもめすを す管な回少糖 可がど数な尿多れ

適分キり糖 食主食生 応るどの期なりを現 心ス運いにかすけ、重 がト動糖チら 菜病 かけましょう。トレスと上手動を習慣にする。 ツ油 ク断 しせ にる、段 よ健 き食でつかる。診ちまで、。診 階 うはウ正断 な腹ォ常で ど、八十よ血 はい食

活• を主 心菜 が・糖 け副尿 牛をを - 乳またはで名ろえた。 乳バた 製ラめに とスは、 果の 物よ毎

り食日め昇1 果ず。る。ま時後をるさ日 たれ歌がたた間に設いせ1 ではいます。 1 であるさせ 1 であるできます。 1 であるできます。 1 であるできませい 2 できまない 2 できませい 4 できまませい 4 できまませい 4 できまませい 4 できままない 4 できまない 4 できまな きに糖はを食上も量にについ値ん抑べが大を甘と まり切心いり しゃでが物ま をン上きる。使や昇ゅた よすすけはし うい · · · · つラはうめ 食よ た特週べう てイ緩りに ムやの酢 めににる に高2前血、齢日に糖 、か酢の

ゆ者は量値

つは休をを

肝決上

たりれ 効ゆすえを 類モのにえ

じすにの有

よだな物効

うちりを活

ま添用

な

すがラパト く、イソや夜**~** な朝トコS型**ネ** りはをンNのツ ります。 い人は起床 い人は起床 いろなどのチャスマート の人は起床 いるなどのチャスマート 計がリッセトされてびると睡眠の妨げにートフォンなどが発すのチェックは朝にしまの手にするといろないが発すのがなりますのよった時間を少しずつ早にはいるはない。 てにず て目覚しまし りブ ょ らネッ めまル やすし

俳 句

吉 加 美 東 住 吉

- 母 許り \mathcal{O} 軒 に 燕 \mathcal{O} 帰 る 頃
- 空 き 溶 け 入 \mathcal{O} るごとき糸 便 ŋ 聞 < ほ تح

懐 青



武田 美智子 (東成区)

催 事 筡 案 内

0 大 阪 ナ城 ル公 クデー 園 ク リー (ウィー ン 国 戦 ク 斉⁽⁾ 行に

ま福 L てク年 とのナ デをそが推ル昨 祉具て 施体設全] 契れ重進ク年 、機を要にはの 設的定国 でなし一そに受でよ地「の活、斉の、けあり域ナ でよ地 活動全に週設てる、 社ル 動内拠地を立 地会 容点域「日ナと 域とビ 子とに社ナのルの とのジ 育し 協会ル「ク提共コ て力にクタイ部ラ にミン 活ュ 要献 1 20 で り か ケ 中 をケ中 を環請すし 目は まし 進 彐 る 、たとしル周 11

にこ実両 ひ以参の施拠こす 下加時し点の す期 7 で本 阪たの す る城結要こ公果請 #活動 袁 を しで、 あを定 ク今受 IJ 回け 一はて 通 斉作常大 戦 5 阪 活 動を月南 `に北

ぜ 時参の ~し

阪雨 (木) 10時~12時(木) 10時~12時でます。 時 順 延

] 青 ル 門南 まの玄 で外関 に濠西 側

込 4 月 20 日 月屋門 事 務 所

0 時 群 月 日本 絵 画 展

日

4 (ただ 月 6 月 日 11 5 は時12 17 \ 日 時 18 🦳 ま時 日 で

> 場 所 : 大ス 阪 市 Ì 中 ス 央区 • わ 千日前 な か 2]

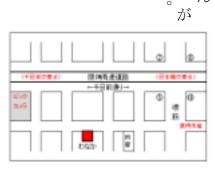
> > 4

]

13

出 (島 が

展東津〜 さ 住光 出吉区) れます。



第 回 定

場日 所時 12 : : 大 6 阪月 時 産 6 総 業日会 創一 造土 館 • 10 5 時 階(

教 室 • 同 好会

众 日 健 時康 麻 雀 初 級 教

4 月 2 月 4 13 4 時月 半 25 (日 16 時

半

場 所 : 拠 5 点 事 務

∃ 健 時康 7] ジ 同 好 会

す

 \mathcal{O}

で、

4 月 月 4 + 務日日ン $\pm\pm$ 4 13 月 時 18 5 日 18 時

場 所 拠 5 点 事 2

場日水 ŋ

所時切 拠 4 絵 点月同 事 9 好 務日会 木 13 時 半 (15

時

所

4 同 好

日手 所時編 拠 4 点月 事15 務日 (木 14 時 5 16 時

所

場 日絵 力 所時手 ラ ::紙 4 新オ 型ケ 拠 4 同 点月 肺 同 事 20 好

務日 (月) 所

14

時

16

時

月 • 5月はかの感 お休みと ク ます。 \mathcal{O} た

お 知 6 せ

ありがとうございまし 語付を頂きました。 日・Tさん(住之江区) 区 カュ ら 1 万 円 \mathcal{O}

寄稿 の お 願

等利ボ 々の少り 投活テ 稿動イ を T お趣活 願味動 いやや 健ナ ま康ル す。法ク 人の 生思 経い 験

2月度 会員動向

時間

時間

人

◎ 時間預託活動 間 55 提供者 16

◎ 奉仕活動 間 232 提供者 19 ◎ 会員数 会0世帯0人 会 3 世帯 5 人

170 世帯

216 人

退 ◎ 月末会員数

拠 [点事 務 所

土事 曜務 所 日 Ø 0 執 6 曜 務 祝時6 間 7 は1 日 は平 日 おの 休 10 みでく 5 す16 時